



ゆりあげ港朝市

「よい品をより安く」をモットーに、閉上地区の新鮮な海の幸や地場産品の野菜などが勢ぞろい。

P.091



いちご狩り

シーズン中は多くの農園が観光客で大賑わい。カフェ併設の農園も要チェック。

P.092

仙台・松島エリア

06 仙台南沿岸部



竹駒神社

842年、奥州鎮護の神として創建。日本三稲荷のひとつに数えられる。

P.091

かわまちてらす 関上

名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

絶品グルメを水辺のテラスで堪能

ゆったり流れる名取川と仙台市街を望む高台のリバーサイドスポット。かまぼこやスイーツ、鮮魚や野菜、食堂やカフェなど多彩なお店がズラリ。遠くに蔵王連峰を眺める最高のロケーションで、地元食材を使った食事や買い物を楽しめる。

📍 各施設により異なる 📄 117台 📞 166P参照
☎ 022-399-6848



ゆりあげ港朝市

名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

活気あふれる海と里の市

威勢のいい掛け声が飛び交う中、地元の新鮮な魚介類をはじめ、野菜や果物が所狭しと並び名物朝市。購入した魚介類は、炉端焼きコーナーで炭火焼を食べられる。東北のローカルフードを食べ歩いたり、人気イベント競り市へ参加するのも楽しい。

📍 日曜、祝日の6～13時 📄 200台 📞 166P参照
☎ 022-395-7211 (ゆりあげ港朝市協同組合)



メイプル館

名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

名取の名物グルメを楽しもう

ゆりあげ港朝市に隣接。カナダ政府の支援で建てられた施設で、名取の名物を使ったメニューやみやげ品の買い物も平日でも楽しめる。震災展示コーナーも常設。

📍 10～16時(日曜、祝日は6～13時) 📄 木曜休
📞 166P参照 ☎ 022-395-7211



みちのく潮風トレイル 名取トレイルセンター

名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

トレイルの魅力の名取から発信

青森県八戸市から福島県相馬市までの、全長1000kmに及ぶロングトレイル「みちのく潮風トレイル」の拠点施設。ハイカーが旅を快適に楽しむための情報やサービスを提供するとともに、ハイキングイベントやクラフト体験も開催している。

📍 9～17時(12～3月は～16時) 📄 火曜休、年末年始
📄 無料 📄 58台 📞 166P参照 ☎ 022-398-6181



名取市サイクリングスポーツセンター

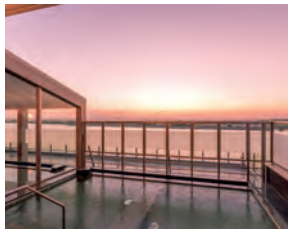
名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

東北最大級のサイクリング専用施設

1周4kmのコースで気軽にサイクリングが楽しめる。施設内には、おもしろ自転車広場やスケートボード場、フットサルコートも。天然温泉を備えた宿泊施設には自転車を持ち込み泊まれる客室もある。温泉は日帰り利用も可。

📍 屋外施設:9～17時(12～3月:9～16時30分)、日帰り温泉:10～20時 📄 屋外施設:毎週水曜休(夏休み期間除く)、日帰り温泉:毎月第2水曜休 📄 160台
📞 166P参照 ☎ 022-385-8027



サッポロビール仙台ビール園

名取市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

ジンギスカンと生ビールを味わおう

JR名取駅から徒歩2分にある赤い屋根の建物が目印。生ビールと自慢のジンギスカンを、飲み放題、食べ放題で楽しめる。

📍 11時30分～22時(現在、営業時間が変更になっております。詳細は、店舗までお問合せ下さい) 📄 無休
📄 50台 📞 166P参照 ☎ 022-384-9301



竹駒神社

岩沼市 **MAP P.049**

歴史・文化



東北有数の参詣者でにぎわう

日本三稻荷である竹駒神社は、842年(承和9)に創建された。衣・食・住の神々を祀り、多くの参詣者が訪れる。江戸時代に建てられた二層の楼門(隨身門)、唐門などがある。

📍 6～17時 📄 160台 📞 166P参照 ☎ 0223-22-2101

千年希望の丘

岩沼市 **MAP P.049**

歴史・文化

復興のシンボル

東日本大震災で生じた震災ガレキ等を活用し、市の沿岸部約10kmに、14基の丘とそれらをつなぐ園路を造成。高さ3mの園路の法面には「緑の堤防」となるよう約40万本を植樹している。園内にある千年希望の丘交流センターは、震災の記憶・記録の伝承と防災学習、環境保全活動の拠点となっている。

📄 77台 📞 166P参照
☎ 0223-23-8577(千年希望の丘交流センター)



名取市震災復興伝承館

名取市 **MAP P.049**

歴史・文化

震災の記憶・教訓を後世に伝える

東日本大震災の記憶と教訓を後世に伝承し世界に伝え、震災を風化させることなく、防災意識を高めることを目的として作られた施設。展示物や映像を通して、震災当時の様子や復興の歩みを学ぶことができる。

📍 9時30分～16時30分(12～3月は10～16時)
📄 火曜休、12月29日～1月3日 📄 10台 📞 166P参照
☎ 022-393-6520



名取熊野三社

名取市

歴史・文化

東北の熊野信仰の中心

平安時代後期に、熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社を分霊し、名取熊野三社が形成された。紀伊熊野三山同様の勧請をしているのは全国でも名取だけである。※名取熊野三社はボランティアガイドによる案内も承ります。お気軽にお問い合わせ下さい。

★境内自由 📄 20台
☎ 022-382-6526(名取市観光物産協会)



仙台空港

名取市・岩沼市 **MAP P.049**

レジャー・ショッピング

空港や飛行機のおもしろさに触れる 『屋上展望デッキ「スマイル テラス」』

地上約23mの高さから、迫力ある飛行機の離着陸の様子や、仙台市街の高層ビル群、蔵王連峰、太平洋まで、360度の景色が満喫できる。季節ごとに行われるイベントも合わせて楽しもう。

📍 6時45分～20時 📄 無休 📞 166P参照
☎ 022-382-0080(仙台空港インフォメーション)



かなへびすい 金蛇水神社

岩沼市 [MAP P.049]

歴史・文化

春には藤や牡丹の花が咲きほこる

ご神体に「金蛇」を祀り、金運向上や商売繁盛の御利益があるといわれる。「水清き花の社」と呼ばれ、樹齢300年を誇る「九竜の藤」と名付けられた見事な藤棚が楽しめる。庭園化された牡丹園の牡丹やつつじ、紫陽花など季節の花を楽しめる。

★境内自由 [P] 240台 [R] 166P参照
☎ 0223-22-2672



Sando Terrace 金蛇水神社参道・休憩処

岩沼市 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング

「金蛇様」の新たな魅力

休憩処・食事処「IKoMiKi」には蛇・牡丹・藤をモチーフにしたメニューが並び、土産処「MiZuHa」では、地元の独自性を生かしたお土産を購入することができる。

☎ IKoMiKi/8時30分～16時(カフェ/9時30分～、ランチ/10時～)、MiZuHa/10～16時
[P] 240台 [R] 166P参照 ☎ 0223-23-0950



グリーンピア岩沼

岩沼市 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング

1日中楽しめる複合施設

自然に囲まれた敷地内に、15本の魅力的な自然散策路、体育館やテニスコート、温水プール、フットサル場などのスポーツ施設がある。また、併設された食堂館ひまわりでは、オリジナルコーヒーや手ぶらでのバーベキューを楽しむことができる。

☎ 営業時間は施設による [P] 500台 [R] 166P参照
☎ グリーンピア岩沼:0223-25-5122、
食堂館ひまわり:0223-25-5730



いちご狩り

山元町 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング



いちごが30分間食べ放題!

いちごの産地の山元町では、いちご狩りが体験できる。農水産物直売所「やまもと夢いちごの郷」
☎ 0223-38-1888。団体要予約)で町内の農園の紹介と受付を行っている。
☎ 166P参照

ぶどう狩り

山元町 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング

旬のぶどうが40分食べ放題!

かつてぶどうの一大産地でぶどう液発祥の地ともいわれている山元町では、観光ぶどう園で、ぶどう狩りが楽しめる。品種は、「シャインマスカット」をはじめ、大きな実が特徴の「ピオーネ」、糖度が高くコクがある「高墨」がある。
☎ 亘理郡山元町山寺高地7(田所食品(株)) ☎ 10～15時(9～10月の土日祝限定(変動あり。HP要確認))
[P] 2,400円から [R] 166P参照 ☎ 0223-37-0439



鳥の海

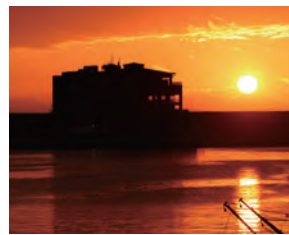
亘理町 [MAP P.049]

自然

マリンスポーツも絶景も楽しめる!

淡水と海水が混ざった汽水湖で波が穏やかなため、カヌーやヨットのほか、モーターパラグライダーやSUPなどのマリンスポーツが楽しめる。また、雄大な蔵王連峰や冬の満天の星空など美しい自然の絶景が望めることも魅力の一つ。

[R] 166P参照 ☎ 0223-34-0513(亘理町観光協会)



わたり温泉 鳥の海

亘理町 [MAP P.049]

温泉

絶景が望める海辺の天然温泉

最上階に設けた入替制の展望風呂からは、東に太平洋、西に蔵王連峰を一望。レストランでは四季折々の旬の名物料理が楽しめる。時間によって移り変わる海と山の景色をお楽しみください。

☎ 日帰り入浴10～20時(最終受付19時30分) ☎ 無休
[P] 大人750円、小人300円 [P] 100台 [R] 166P参照
☎ 0223-35-2744



亘理町荒浜にぎわい回廊商店街

亘理町 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング

亘理のにぎわいを創出

震災で被災した商業店舗が集まったアーケード付きの商店街で、飲食店や海産物の販売店、サーフショップなどがある。4月から11月の第2日曜日には、ハンドメイドグッズやライブが楽しめる「荒浜マーケット」が開催されている。

[P] 80台 [R] 166P参照
☎ 商店街代表 リアルサーフ:0223-36-9664
荒浜マーケット代表:080-6582-8167



鳥の海ふれあい市場

亘理町 [MAP P.049]

レジャー・ショッピング

亘理町の地場産品が揃う

荒浜漁港の向かい側にあり、荒浜で水揚げされた新鮮な魚介類、地物野菜、特産品などを販売している。秋には郷土料理の「はらこめし」、冬には「ほっきめし」を販売。オリジナルのブレンドソフトクリームや、皇室に献上された焼海苔などが人気。

☎ 9～17時 ☎ 年始のみ [P] 50台 [R] 166P参照
☎ 0223-35-2228



やまもと夢いちごの郷

山元町

遊ぶ

直売所のほかにフードコートやレンタサイクル、地域の総合案内所も。

いちごやりんど、ホッキ貝、シャインマスカットの産地として有名な山元町。直売所では、町の特産品や地元の新鮮な農水産物の販売に加え、時季の郷土料理や地元食材を活用した食事を楽しむことができるフードコートや周辺地域を周遊できるレンタサイクルがあり、買い物以外でも楽しむことができる。また、いちご狩りシーズン時の町内各農園や観光情報も提供しており、地域の総合案内所となっている。



DATA

☎ 9時30分～17時(フードコート11時～19時)
☎ 年末年始(12月31日～1月2日) [P] 普通車約140台、大型車約3台
☎ JR坂元駅下車、徒歩1分。常磐自動車道山元南SICから車で5分
☎ 0223-38-1888



深山・鎮魂の鐘 山元町 MAP P.049

歴史・文化

被災地を一望できる地に建つ鐘

2015年に、山元町深山の山頂に、東日本大震災を語り継ぐ鎮魂の鐘が設置されており、眼下に広がる風景を一望しながら鐘を鳴らせる。山元町深山山麓少年の森から1時間弱で登ることができる。

☎ 166P参照

☎ 0223-37-3364 (NPO法人山元・あしたの響き)



山元町震災遺構 中浜小学校 山元町 MAP P.049

歴史・文化

被災した校舎に立ち入って見学

2階天井近くまで津波が到達したものの、児童ら90人の命を守り抜いた校舎を被災したままの状態一般公開。津波の脅威を知るだけでなく、映像や展示物などから避難行動を考え、屋上倉庫では避難した一夜を肌で感じることができる。

☎ 166P参照

☎ 0223-36-8948 (山元町教育委員会生涯学習課)



COLUMN

ラーメン激战区岩沼 個性豊かな名店がいっぱい!

岩沼市・岩沼市観光物産協会では、市内のラーメン提供店舗の店長がおすすめるラーメンを掲載した「いわぬまラーメンマップ」を作成し、掲載された店舗や公共施設などで配布しています。令和4年度に、掲載内容を更新し、ラーメン激战区岩沼の魅力をたっぷりと伝えています。ラーメンマップ片手に、岩沼巡りを楽しんでみませんか。

ラーメンマップは岩沼市ホームページに掲載しています。

ホームページ

<https://www.city.iwanuma.miyagi.jp/kanko/guide/2021ramenmappu.html>



ラーメン激战区岩沼のはじまり “夢”から生まれた食堂のラーメン

明治維新の頃、岩沼領主の家老を務めた伊東訥庵は、自宅敷地内(現在の“ホテル原田”付近)に豚舎を建て、養豚事業をはじめました。「日本は肉食を普及することで、健康な国民をつくり、産業を振興させるのだ!」と、訥庵は壮大な夢を描きます。これはアダム・スミスの『国富論』を実践したものでした。しかし、ときはまだ明治の初め、岩沼での豚飼育第一号となったこの事業は肉食が一般庶民に浸透していなかったこともあり、採算がとれず失敗に終わります。

時は流れ、西洋文化が地方にも広まってくると、岩沼でも豚肉が食べられるようになりました。大正10年には町営の屠場(食肉処理場)も設置され、新鮮な肉が容易に入手できるようになり町にホルモン屋さん(岩沼とんちゃん)ができはじめました。この頃には豚骨(ガラ)を使ってラーメンを出す食堂も現れ、他の食堂もこぞってラーメンを提供しはじめました。こうして岩沼は「ラーメン激战区」になっていったのです。訥庵の夢はこのような形で実を結んだのでした。

